

様式1【申し合わせ事項】 【委員会、全協：共通様式】

令和元年 8月 13日

教育民生常任委員会委員長

三林 浩 様

教育民生常任委員会副委員長

川瀬孝代

研 修 報 告 書

研修期間	令和元年 8月 1日（木） ～ 8月 2日（金）【2日間】
研修（視察）先	① 東京都八王子市役所 ② 東京都北区防災センター 「防災について」
目的（テーマ等）	① 総合防災ガイドブック作成事業・自主防災組織と地域 支援組織の内容など ② 防災アプリ・女性視点の防災ブック・地域の取り組み
資料添付の有無	有 ・ ○無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。



様式 1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名：川瀬孝代

〕

研修概要、内容、所感

① ・八王子市市役所で防災について研修しました。

八王子市では、平成 31 年 3 月より総合防災ガイドブックを配布している。市長の公約事業で土砂災害防止法に基づく警戒区域の指定が完了したことで作成されました。防災の基本・風水害・地震・防災マップが掲載されていて、防災に関したことが一つにまとめられています。

防災セミナーなど実施し、理解を深めて周知啓発に努めていく。

・地域支援組織は、災害時の要支援者の支援を行う共助組織、自治会、自主防災組織、老人会、民生委員などで立ち上げています。訪問や災害時の安否確認、避難方法を計画して行います。

・自主防災組織が抱える組織運営などにハンドブックを作成し配布しています。

・防災無線の活用は、電波法改正によるデジタル化は今年度で終了する。有料のケーブルテレビで提供地区を対象に戸別受信機で放送が、荒天時等で閉め切った屋内でも聞くことができるようになり、情報伝達が確実になることが見込まれます。

緊急放送と一般放送があります。

・アマチュア無線の活用は民間団体と協定し、物資の供給、無線通信の協力、避難所の施設提供、廃棄物の収集業務などになります。

所感

総合防災ガイドブックは災害時の対応から情報など一冊にまとめられています。内容では、現場の声を聞き、女性視点をいれています。トイレが災害時重要な問題になることから説明しています。

住民への防災力向上のためには必要性を感じました。

日ごろから家庭での防災会議、意識を高めていくために良いと思いました。

自主防災組織は東員町でも取り組まれています。地域支援組織は、各団体が連携しているが、要支援者の災害時援護は窓口では、しっかり把握できないことがあり、個人情報などで分かりにくいことになっています。抱えている状況は東員町と変わりませんでした。

防災は命に関わることです。行政には、縦割りではなく、各課が連携し減災への対策に力を入れていかなければなりません。

公助には限界があります。共助・自助を周知することが重要です。

一般質問を通して提案してきましたが、さらなる取り組みに声を上げていきたいと思います。

研修概要、内容、所感

北区防災センターで北区の防災について研修しました。

② ・中学生防災学校

将来の防災リーダーとなってもらうため中学校2年生を対象に学校単位で授業を行い、土曜日には、防災訓練を実施しています。

- ・自主避難施設を開設（町会・自治会）

台風や風水害の時に避難勧告に先駆けて避難できる施設です。避難所開設の図面やマニュアル・表示物・チェックシートなど入れた「避難所開設キット」を配備しています。

- ・防災アプリは東京都と連動させています。

- ・地域での外国人世帯には一部呼びかけていますが、言葉の壁があり自治会との交流はできていない。外国人の特定のコミュニティに問いかけて時間を活用していきたいが、大きな課題となっています。

- ・女性視点防災ブック「東京くらし防災」は都内に配布されています。身近な、具体的な方法や対策がイラストで分かりやすく書かれています。また女性は、家庭の中がどういう状態か知っています、女性の声を反映することが重要という視点から「防災女性リーダー研修会」を実施していました。

- ・災害弱者は防災と福祉で協議を行い、顔の見える関係を築くことが大事です。

- ・自主防災組織へは、地区防災会議（計画書作成）補助金・助成金がありました。

所感

一つ一つ丁寧に取り組んでいる姿勢を感じました。

防災へのリーダー育成に取り組んでいくことが必要です。

防災教育は、自らの命を守ると共に、助ける人になる（共助）この観点は重要と思いました。

行政任せではなく、地域や我が家でどう取り組んでいくのか。考え実行していくことになります。

さらに、防災対策の取り組みを発信していきたいと思いました。

2日間の防災について研修会有意義な研修となりました。